

令和6年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立田主丸特別支援学校

自己評価				
学校運営計画(4月)				評価(総合)
学校運営方針	児童生徒の良さを力として見だし、知らせ、伸ばし、広げることにより、一人一人の自立と社会参加の基盤となる学力、体力、豊かな心を培う。			
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		
<small>(成果)身に付けたい3つの力と運動した各種教育計画の作成、外部専門家等を活用した指導力向上、防災体制や感染症対策の改善、省資源への取組等(課題)自立活動を中心とした更なる教職員の専門性向上、授業改善の推進、児童生徒主体の教育活動の充実、危機管理体制の強化</small>	○信頼される学校としての指導・支援の充実	○キャリア教育の充実 ○センター的役割の充実 ○教職員の専門性向上		
	○彩りのある教育活動と個別最適な学びの創造	○教育計画の最適化 ○学校教育研究と授業改善の推進 ○積極的情報発信の推進		
	○安全・安心で持続可能な教育環境の整備	○危機管理体制の強化 ○保健・医療連携の充実 ○合理的で効率の良い校務運営		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
小学部	様々な活動を経験する中で、自分の特性に気づき、学校生活を円滑に送る力を育てる。(わかる)	学校生活のスケジュールを分かりやすくし、児童が見通しをもって活動できるようにする。 引継ぎ資料の活用、アセスメント(3月諸検査・4~5月行動観察)を行い、児童の特性を把握して指導を行う。		
	自分に合ったコミュニケーション手段を選択し、友達や教師の働きかけに応じたり、気持ちを伝えたりする力を育てる。(かかわる)	各学級で、1対1~小集団でのやりとりを丁寧に行い、児童の表出を見逃さずに受けとめ、伝わる体験を積み重ねる。 個に応じたコミュニケーション手段を模索し、学習の中で、周りの人に伝えたり周りの人の意図を読み取ったりする場面を仕組む。		
	できることが増えたり、人と関わったりすることに喜びを感じ、さらにやってみようとする意欲を育てる。(たのしむ)	興味をもちやすい、成果が分かりやすいなど課題を工夫し、児童が意欲をもって取り組むことができるようにする。 学部全体で、集会活動(年6回)や校外学習を実施し、集団の中で友達や教師と関わる場を設定したり、学習で学んだことを活かしたりできる内容を工夫する。		
中学部	学校生活や授業において、できるだけ一人で活動することができる力を育てる。(わかる)	学校の生活リズムと活動時間を整え、毎日1回は身に付けたい動きや活動を行うことで、できることを増やし、定着を図る 授業担当者間で生徒の実態と活動内容の情報共有を行い、身に付けたい力の目標と授業内容・手だてを常に意識した授業づくりを行う。		
	自分に合ったコミュニケーション手段を活用し、自分の気持ちを表現したり、周りの人の気持ちを理解したりする力を育てる。(かかわる)	毎日、朝の会で日直の呼名に応じたり、時間割や献立を読み上げたりして、互いに関わり合う活動を多く設定する。 生徒や教師と様々な関わりをもったり、ICT機器等を活用したりすることで、生徒からの自発的な言葉、身体の動き、表情の変化等を引き出すようにする。		
	将来の生活や仕事に関心を持ち、様々な活動に意欲的に取り組む力を育てる。(たのしむ)	自分でできることや学級の係活動を毎日行うことで、自分の役割を果たし、活動できる喜びや達成感を味わうことができるようにする。 宿泊学習、進路体験学習、地域での交流等を通して、人との関わり方や楽しさを学んだり、決まりを守ったりできるようにする。		
高等部	自己の特性や障がい理解自ら課題解決に取り組む力を育てる。(わかる)	専門スタッフ強化事業や自立活動専任によるアドバイスを学部で情報共有し指導に生かす。 学期初めと終わりにキャリアパスポートを活用し、目標を立てたり振り返りを行ったりする場を設ける。		
	適切な自己表現力を高めるとともに周囲と協動的に関わる力を育てる。(かかわる)	学部目標を話し合う場を設け、集団の中で司会や意見発表の経験を積み重ねられるようにする。また、司会等においては個に応じた支援機器等を活用する。 行事や各授業において、生徒同士の関わりや主体的な活動が増えるような場面の設定や支援を工夫する。		
	卒業後の生活や仕事の必要な知識・技能・態度を育てる。(たのしむ)	卒業後の生活を見据えて、産業界等における実習(1年…年1回、2・3年…年2回)や校内実習(年2回)を実施し、課題を明らかにして日々の指導に生かす。 体験的学習や校外学習等「修学旅行、交流会(年2回)、社会見学や買い物学習等」を実施し、授業で学んだ知識・技能・態度の定着や活用を促す場を設ける。		
カリマネ・研究推進課	「身に付けたい力」と連動した個別の指導計画を作成し、授業作り・改善の取組の充実を図る。	「身に付けたい力」と連動した各種教育計画と授業作り・改善の取組について全体に周知する。【5月】 各種教育計画の点検を実施し、個別最適化に向けた助言を行う。【年3回:5月、8月、3月】		
	教育課程実践交流会を見据えた学校教育研究を推進する。	教育課程実践交流会の実施について全体に周知する。【5月】 グループ研究において、すっきりシート作成や模擬授業を実施する。【月1~2回】		
支援研修課	関係機関との連携による小・中学校等に対するセンター的機能の充実を図る。	地域の教職員の専門性向上のため、地域支援研修会を実施する。【年1回】 地域の肢体不自由特別支援学級等への巡回相談や研修協力を実施する。【希望があれば100%対応】		
	障がいのある児童生徒への適切な指導を行うため、教職員の専門性向上に努める。	教職員の人権感覚の向上のため、校内研修会を実施する。【年2回】 肢体不自由教育の授業づくりに関する研修会を行う。【年2回】		

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
	A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見

生徒指導課	各種避難時の避難場所や計画の見直し、想定される災害への対応を保護者へも周知する。	各種災害(火災・地震・水害等)を具体的に想定し、児童生徒の実態に応じた事前事後学習を行い、防災意識を高める。【年4回】				
		PTAや関係機関と連携し、171災害用伝言ダイヤル・引渡し訓練を行い、防災体制を強化する。【年1回】				
	縦割りや学部小グループをつくり、児童生徒がお互いの良さを見つけ、主体的に取り組む活動(全校集会・ためしんピック・文化祭)を計画する。	児童生徒会役員を中心に集会の内容を考えて提案できる場【年5回】、児童生徒一人一人が活躍できる場(文化祭)、自分や友達の役割を知る場の設定(全校集会、ためしんピック)を行う。 定期的にいじめアンケート(児童生徒・保護者【学期1回】、教員【月1回】)を実施・集約・報告をし、いじめの未然防止に取り組む。				
保健環境課	安全・安心な学校生活を維持するために、関係者の連携や専門性の向上に努める。	心肺蘇生法、緊急時対応(発作、プール)、異物混入時対応、医療的ケア、摂食に関する校内研修を実施する。【各1回】 学校における医療的ケアガイドラインに基づいて、医療的ケアを実施し、医療的ケア校内委員会【年5回】、医療的ケア保護者会【学期1回】を開く。				
	安全・安心な教育環境の整備や給食管理の徹底を図る。	教室内の加湿器、空気清浄機、サーキュレーター等の利用や清掃、掲示板の点検を呼び掛け、点検・管理を実施する。【学期に1回】 異物混入対応、アレルギー対応、摂食に関するガイドラインに基づいた対応を徹底する。【随時】				
情報・広報マネジメント課	情報機器の適切な管理と整備を行い、学習活動や校務において効果的なICT活用を推進する。	職員室や各教室配布の情報周辺機器の点検を行う。【年3回:7月、12月、3月】 ICT活用に向けて、オンライン研修を周知し、校内学習会や報告会を行う。【学期に1回】				
	学校ホームページや、PTA新聞などを通して教育活動について積極的に情報発信する。	学部毎の授業の様子や行事の様子を更新する。【月1回】 本校の教育活動についてまとめたPTA新聞を発行する。【年2回:4月、3月】				
キャリア支援課	児童生徒の進路が適切に選択されるように、計画的な指導に努める。	外部講師を招聘して就労に向けた児童生徒対象の進路学習会を実施する。【年1回】 キャリア・パスポートの新しい様式の見直しを行う。【1月まで】				
	児童生徒の進路指導に関する諸問題の解決やキャリア発達支援に向けた情報の提供や援助に努める。	「施設・事業所データベース」の情報更新を行う。【学期1回以上】 卒業後を見据えた施設見学会を実施する。【年2回】				
事務部	学校経営に積極的に参画し、効率的な予算執行に努める。	関係各部と連携しながら効果的な予算執行を行うとともに、予算方針について職員への周知を図る。【年1回】 省エネ・省資源の推進として光熱水費の縮減や裏紙の利用の啓発を図る。【四半期1回】				
	児童生徒及び学校職員の安全確保に努め、安全に学べる環境整備の充実を図る。	施設設備の点検を実施し、危険箇所について速やかに対応し、安全確保に努める。【月1回】 非常災害等の危機管理に備えるため関係課と連携し、物品等の整備を図る。【随時】				

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・

評価項目以外のものに関する意見